

## 在学少年宿泊指導者研修 Q&A

**Q1: 宿泊学習の計画は、在学少年宿泊指導者研修(以下在少研)に行ってから作成すればいいのでしょうか？ / 宿泊学習の計画はどの程度まで立てていけばいいのですか？**

A: 宿泊学習の計画は在少研に来てから立てるのではなく、できれば完成に近いものを作って持参してください。在少研で立てた計画が本番のプログラムとなります。自校に持ち帰った後に大幅な変更をすることがないように、また、変更を何度も学校に確認しなくていいように準備をお願いします。作成の際は、以下の点に留意してください。

- ① 宿泊学習の目的や学年の方針などを明確にしておく。
- ② 雨天時の活動予定なども立てておく。
- ③ 同時利用校がある場合は、変更することを視野に入れて、代案を考えておく。
- ④ 立てた計画は、学年主任・教務・教頭先生等と相談し、都度確認をしなくてもいいようにしておく。

※ 活動プログラムは毎年更新しています。過去に経験のある活動でも必ず内容をよく読み、確認をしてください。

**Q2: 宿泊学習は初めてで、どんな活動をしたらいいのか分かりません。**

A: 初めてのの方は活動自体がどんなものか分からず、戸惑うのも無理はありません。まず先生方に確認していただきたいのは、その学年(学級)の子どもたちの傾向・状態がどのようなものであるか、ということです。例えば協調性が全体的に低い場合は、利用案内の「活動プログラム一覧表」から、「協調性」の欄の◎があるプログラム(いかだ活動、アドベンチャーゲームなど)を盛り込むといいでしょう。中には、時間の制約のあるプログラムもありますので、内容をよく確認しながら計画してください。

計画の際にありがちなのが、活動を詰め込みすぎたり、体力的に厳しいプログラムが続いてしまったりすることです。活動が早く終わったら自由時間にするなど、できるだけ余裕を持ち、子どもたちが一休みしたり、振り返ったりできる時間を確保してあげましょう。

また、可能であれば他の学校と合同で活動するのもおすすめです(最近の調査で、他集団との活動が交友・協調能力をより向上させることが分かっています)。

**Q3: 午前中から入所して、できるだけたくさんの活動をしたいのですが。/ 初日の午前中に入所して活動プログラムをやりたいのですが、可能ですか？**

A: 前日からの継続団体に活動場所や活動プログラムの優先権があるため、午後の入所が基本となります。たくさんの活動プログラムを体験させてあげたいという熱意は重々承知しておりますが、継続団体の活動を優先させるため、また、危機管理の観点からも午前中に入所は控えてください。時間が余る場合は、近隣施設での見学や体験活動などを考えてください。ただし、以下の場合に限り午前中に入所が可能です。

- 繁忙期(6~9月)以外の5月や10月に利用する場合。
- 1泊2日の初日に、いかだ活動を計画する場合。  
(条件がありますので、後述のQ7を熟読の上、計画願います)

なお、荒天時の昼食を館内で計画する場合は、12時以降に入所してください。

参考までに近隣施設の情報を記載いたします。

- 種差海岸インフォメーションセンター(☎0178-51-8500): 展示の解説を依頼できます。
- 八戸市水産科学館(マリエント、☎0178-33-7800): 見学の他、昼食もとれます。事前予約が必要です。蕪島神社にも徒歩で移動できます。

- 種差海岸：砂浜での貝殻拾いや天然芝生での昼食、遊歩道でミニハイキングもできます。
- 白浜海岸（砂浜）：ビーチコーミング（漂流物収集）や磯観察もできます。
- マルヨ水産（☎0178-33-1161）：ちくわの製造工程の見学ができます。事前予約が必要です。
- 是川縄文館（☎0178-38-9511）：体験講座もあります。事前予約が必要です。
- 八戸視聴覚センター 児童科学館（☎0178-45-8131）：事前申し込みでプラネタリウムを観ることもできます。
- 八戸市博物館（☎0178-44-8111）：南部地方の歴史や文化が学べます。事前申し込みで館内解説や体験活動もできます。
- 八戸石灰鉱山（八戸キャニオン☎0178-25-4033）：日本ではめずらしい露天堀鉱山です。場内見学人数は最大70人、事前予約が必要です（展望台はいつでも可能）。

#### Q4:アレルギーの児童・生徒がいるのですが、どうしたらいいでしょうか？

A：アレルギーに関しては、できれば在少研に参加する前までに調べておくことをおすすめします。アレルギーの程度や人数によっては、メニューを変えたり、別のおかずを用意したりすることができる場合もあります。また、症状がひどい場合や保護者の方が気にしている場合もご相談ください。後日、栄養士と電話や面接等で直接話し合いをすることも可能です。ちなみに、そば、生卵は食材から外しています。

#### Q5:タイヤチューブいかだとスチロバールいかだの違いが分かりません。/いかだ活動のグループの人数は何人にしたらいいでしょうか？

A：スチロバールいかだは平成24年度から開始した新しいプログラムです。どちらも午前9時～午後3時までの活動となります（午前のみ、午後のみのかだ活動はできません）。タイヤチューブいかだとの違いを表にまとめました。

いかだ活動の教育効果	タイヤチューブは苦勞する分達成感があり、グループの結束力は高まりやすい。スチロバールはタイヤよりも簡単に短時間に組み立てができるため、乗船後の活動時間や内容を充実させることができる。どちらにも一長一短がある。	
種類	タイヤチューブいかだ	スチロバールいかだ
作成人数	10～14人	6～10人
乗船定員	4～7人（6人を推奨）	4～7人（6人を推奨）
艇数	10艇	10艇
材料	タイヤチューブ6本（1本予備）、角材長3本、角材短4本、座板3枚、青ロープ18本、白ロープ12本	スチロバール4個（漁業用浮き）、角材長4本、座板3枚、マジックテープ8本、青ロープ12本
組立所要時間※	1時間半～2時間	1時間～1時間半
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料が多く、作るのにも時間がかかる。全体を通して作成・解体に手間がかかる。</li> <li>・タイヤのサイズが統一されていないので、できたいかだはいびつになることが多い。まっすぐに進まない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料が少なく、ロープワークも1種類のみと、タイヤに比べて簡単にできる。</li> <li>・統一規格のスチロバールを使用しているため、完成したいかだはほぼ安定している。</li> </ul>

※ 組立所要時間は、実際に作成のみにかかる時間です。実際にはこの他に、ライフジャケットの説明と着用・準備・移動・漁港での安全確認といかだ作成の説明があります。

※ 組立所要時間はあくまでも目安です。ひも結び（特にちょう結び）ができない児童が多い場合は、さらに時間がかかる場合があります。

以上のことをふまえ、学級・学年の実状にあわせて選択してください。なお、スチロバールとタイヤはどちらか一方しかできません（複数団体でも同様です）。

#### Q6:いかだ活動ではどんなことを事前指導しておけばよいでしょうか？/いかだ活動での注意点はありますか？

A：種差少年自然の家の特色ある活動プログラムの中でも一番人気のいかだ活動ですが、海での活動となるため、実施の際は以下のことを確認しておいてください。

- ① ちょう結びはできるようにしてきてください。作業がスムーズにはかどります。また、軍手は活動全体を通して必要ありません。
- ② 種差漁港は遊泳禁止となっています。そのため、サンダルや長靴、水着は禁止となっております（水着を着用している場合は、いかだ活動は中止となります）。
- ③ 熱中症対策および寒さ対策、雨具の用意など、その日の状況に応じた対応ができるような準備をしてください。特に水分補給の計画は必ず入れてください。
- ④ 監視船借り上げ料は、直接船頭さんに現金でお支払ください。領収書がその場でもらえます（※自然の家職員はお金を預かることはできません）。
- ⑤ 入浴時間は15時30分から（時間指定）となります。

#### Q7:いかだ活動は2泊3日の中日が原則とのことですが、1泊2日でもできないでしょうか？

A：いかだ活動はQ5でも説明している通り、非常に時間がかかる活動です。1泊2日の場合の実施は非常に難しいのですが、以下の条件が調整可能である場合は許可しています。

- 入所時間を9時とし、かつ、入所式の場所の空きがあり、いかだ活動を入所日に行う。
- 継続団体と途中から合同で行う場合は、6月に行われる自然体験活動研修会に在少研参加者以外の指導者が少なくとも1人は参加し、いかだ活動の実習を受けること（厳守）。
- 荒天時の活動場所と活動プログラムの準備ができる（※Q3と同様に荒天時の職員の支援はできません）。
- 継続団体が了承している。

継続団体がいかだ活動を予定している場合、どうしても後から合流となります。また、活動自体に時間差ができるため、職員がつけない時間帯が生じます。計画の際は、十分ご注意ください。なお、いかだの種類ですが、合流する場合は継続団体に従ってください（例：継続団体はタイヤだが、うちの学校はスチロバルを作る、というのはいけません）。継続団体なしの単独校の場合はスチロバルになります。なお、2日目の実施については問題点が多いためご遠慮ください（閑散期には可能です）。以下に問題点を列挙します。「終了後に着替えが必要」、「身体が冷えて体調管理がしにくい（最終日の入浴は不可）」、「退所式の実施が遅くなる」。

#### Q8:アドベンチャーゲームは事前の講習を受ける必要があると聞いたのですが、なぜですか？

A：アドベンチャーゲームの指導は一見簡単そうに思えますが、十分に理解しておかないと教育効果がほとんど得られず、また、大きな怪我につながってしまう可能性があります。特に安全面に関しては、十分に配慮する必要があります。

アドベンチャーゲームは、プロジェクトアドベンチャー等の自然体験活動を参考に、当施設で開発した教育プログラムの一つです。与えられた課題を、制限時間内に参加者が知恵を出し合い、協力しながら解決していきます。

目的は、

『新しい自分を発見、自分をより好きになる』

『課題をみつけ考え行動する』

『みんなと交わり協力し、挑戦する楽しさを学ぶ』

です。決して課題をクリアすることではありません！この活動を通して個人の人的な成長と、仲間との信頼関係の向上が期待できます。ただし、ルールの設定の仕方や、課題解決の際の注意点などは、経験のある指導者でも事前に実習をする必要があります。

そのため、アドベンチャーゲームを実施する際には、在少研の実習1のアドベンチャーゲーム、または6月に行われる自然体験活動研修会を必ず受講するようにしてください。

**Q9:職員の方に指導に入ってもらえる活動プログラムが少なすぎると思います。もっと指導に入ってもらいたいのですが。**

A: 当施設は、各学校で目的に沿った活動計画に基づき、引率指導者が中心となり諸活動の指導や生活指導がなされる施設です。そこで施設職員は、各学校が活動計画に沿って運営できるように、事前に引率指導者に対してプログラム運営や展開について助言・指導を行う、いわゆる「間接指導」を行っています。また、学校で独自に展開できない専門的指導が必要なプログラムや児童生徒の事故や怪我などの安全確保の観点から、施設職員が「直接指導」に当たる場合もあります。いずれにしても児童生徒にかかわるのは、第一義的に引率指導者であることをご理解願います。

一方で、指導職員は少人数で対応しております。原則として1団体1担当者としていますが、早朝からの勤務（早番）、遅くまでの勤務（遅番）、あるいは土・日曜日の勤務等の関係で、2団体を1名で担当することもあり、利用団体の「もっと指導に入りたい」との要望に十分にお応えできない状況もご承知おきいただきたいと思います。

引率指導者の方々が児童生徒に活動プログラムを指導できるように、活動プログラムを毎年見直したり、「在学少年宿泊指導者研修」や「自然体験活動研修会」を開催しています。ご参加の上、指導方法を習得していただければ幸いです。

**Q10:お風呂は一度に何人まで入れますか？/同時利用校があるのですが、お風呂の時間はどうしたらいいですか。**

A: 当施設のお風呂は洗い場が10席、一度に25~30人まで利用可能です。利用人数が50人未満の場合は、浴室の利用は一つだけとなります。利用時間は原則16時~17時30分までです。同時利用校がある場合は、入浴時間を決めて入るか、合同で入るかを在少研のすり合せの時間に決めてください。できる限り指導者の方も一緒に入り、入浴指導をお願いします。

いかだ活動・いそ遊びをした団体に関しては、15時30分から（時間指定）となります。

**Q11:食堂のシステムが変わったと聞いたのですが、どうなったのですか？/食堂の使い方についての留意点はありますか？**

A: H25年度から、テーブルの配置を大幅に変えております。それまで利用人数が多い場合、食事を2回に分けていましたが、座席数を増やして1回で済むようにしました。これにより活動時間の制限がぐっと少なくなりました。しかし、いくつか注意しなければならない点もあります。

- ① 一度に食べることができる人数は194人までです。パイプイスを入れて200人まで増やすことができます（※要相談）。
- ② 食器片付けに時間がかかるので、グループごとにまとめて返すと時間短縮ができます。
- ③ 複数団体が利用する場合、最初に入った団体と最後の団体で時間差が生じるため、食事後の掃除に工夫が必要です（食事中に掃除をするとホコリがまい上がってしまいます）。利用団体同士で掃除時間を決めたり、団体で輪番制にしたりするとスムーズです。

**Q12:活動プログラム集があった方が助かります。また作ってもらえないのでしょうか。**

A: 以前は毎年参加校に1部ずつ郵送しておりましたが、H25年度から廃止とさせていただきました。活動プログラムの概略部分については利用案内に掲載しましたので、検討の際にご覧ください。活動プログラムの詳細はホームページで公開していますので、必要な資料を各自で閲覧・印刷等に対応していただくこととなります。また、在学少年宿泊指導者研修の参加時には検討中の活動プログラムを各自印刷して持参していただくようお願いいたします。